

なるほど! ザ・ファンド

Q & A

Vol.142

Q.

物価が上昇すると経済にどんな影響があるの？

A.

物価が上昇しても、景気拡大を伴うインフレであれば、
経済に好循環が生まれます。

インフレーション（インフレ）とは、モノの値段（物価）が上昇し続ける状態のことで、お金の価値が相対的に下がる状態を指します。例えば、リンゴの値段が100円から200円に上昇した場合、同じリンゴを購入するのに必要なお金が2倍になる、つまりお金の価値が2分の1になったと言えます。



物価が上昇すると、
お金の価値は相対的に下がることに

インフレ状況を把握するために多くの国で一般的に採用されている指標が消費者物価指数（CPI）です。相対的に価格変動の大きい食品やエネルギー価格を除外して算出されたCPIも公表されています。

物価が上昇しても、企業が販売価格の上昇で業績を拡大し、社員の給料も増加すれば、社員（消費者）は消費を増やし、企業業績がさらに拡大するという好循環が生まれます。そのため、各国・地域の中央銀行はインフレが緩やかに進行することを目標に掲げています。

一方、想定以上に物価上昇が続いた場合は、インフレを抑制するために政策金利の引上げなどを行います。

CPIとは？

CPI（Consumer Price Index）とは家計で支出の多いモノやサービスの価格を指数化したもので、「経済の体温計」とも呼ばれています。日本では調査員が対象の品目をスーパーマーケットなどで調べて決定します。

＜調査対象となる品目例＞



食品



家庭用品



衣料品



交通費



自動車



教育費

（出所）2020年基準消費者物価指数品目情報一覧を基に
三井住友DSアセットマネジメント作成

*イラストはイメージです。

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境を示唆あるいは保証するものではありません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

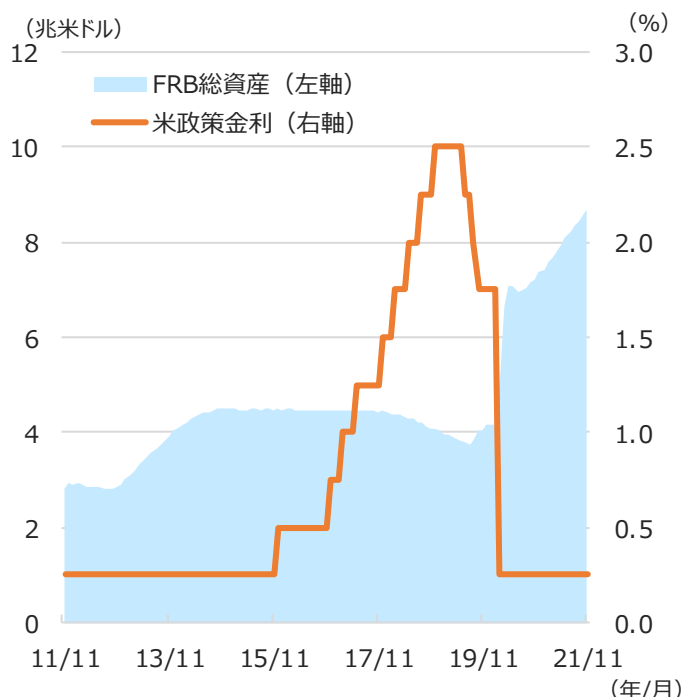
米国では、新型コロナウイルスのワクチン接種拡大によって経済活動が再開し個人消費が拡大したことや、原材料費や人件費が高騰していることなどから、足元でインフレ傾向が続いてきました。また、資産の買入れを増やして世の中に出回るお金の量を増やす量的緩和政策を米連邦準備制度理事会（FRB）が続けてきたことで、お金の価値が相対的に下がったことも一因とみられます。そのため、FRBは量的金融緩和の縮小（テーパリング）や政策金利の引上げを急ぐ姿勢を強く打ち出し、急速に高まったインフレの抑制が期待されます。

個人消費拡大やFRBの資産買入増加などにより、米国ではインフレ傾向が続いてきた

＜米個人消費における物価動向の推移＞



＜FRB総資産と米政策金利の推移＞



(注1) データは2011年11月末～2021年11月末（月次）。

(注2) 米個人消費の物価動向は米国PCEコアデフレーターを使用（米国PCEコアデフレーターとは米商務省が毎月末に発表している個人消費の物価動向を示す指標）。

(出所) FRB、Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DS アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。